



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3551 号 2017.3.11 発行

スマホの次は音声操作 世界で覇権競争



NHK ニュース 2017年3月10日

携帯電話の姿を大きく変えたアップルの初代 iPhone がアメリカで登場したのは2007年。10本の指で操作していたパソコンから、指1本でより直感的に操作できるスマートフォンやタブレットに主役が移りました。

それから10年。次の主役は何か。指の操作は必要なく、声を発するだけの「音声操作」が有力候補とされ、すでに世界標準を狙った覇権争いも

始まっています。(アメリカ総局・渡部圭司記者 経済部・木下健記者)

アマゾン「エコー」の快進撃

年間の売上が日本円で15兆円を超えるアメリカの通販大手アマゾン・ドット・コムで、2016年の年末商戦で最も売れた商品は、人工知能を搭載した家電製品「エコー」でした。

価格は約2万円。円筒の形をした高さ24センチほどの製品で、音声を認識する人工知能に話しかけて使います。アマゾンのインターネット注文はもちろん、検索や好きな音楽の再生などの操作ができます。

台所に置いて料理中にタイマーとして使ったり、ニュースを聞いたりする利用も多いようです。ネット機能がある家電製品と結ばれれば、リモコン代わりに部屋の照明の点灯やエアコンの温度調整もこれ1つでできます。音声で操作できることから「音声アシスタント」とも呼ばれています。

アメリカでは2014年11月に発売され、販売台数はこれまでに800万台以上に上っています。

この音声認識する人工知能(AI)の名称は「アレクサ」。一般的な女性の名前のため、家の中で母親が「アレクサ」と娘に呼びかけたら、機械が返事をしたという笑い話もあります。

身近な人工知能としてはアップルの製品で使われている「Siri」が有名ですが、両者の戦略には大きな違いがあります。アップルはiPhoneやiPod、Macといった自社の製品にしか「Siri」を搭載していません。これに対して、アマゾンは幅広い企業と提携し、他社の製品に「アレク



サ」を搭載しています。

これまでに米大手自動車メーカーのフォード、韓国のLG電子、大手コーヒーチェーンのスターバックスなどと組んでいます。例えば2017年1月に世界最大の家電ショーCESで発表されたLGの冷蔵庫は、話しかければ中にある食材のカロリーを教えてくれたり、牛乳が足りなくなるとネットで注文までしてくれます。

また、出勤前の慌ただしい中、自宅で「アレクサ」にカプチーノなどを注文すれば、指定したスターバックスの店舗で商品を受け取ることができるということです。

アマゾンがこうした仲間作りを積極的に行う背景には、音声操作の需要が今後、爆発的に普及すると見ていることがあります。アマゾンが「アレクサ」で狙うのは、音声操作のプラットフォームとして市場をおさえることです。スマートフォンの基本ソフト（OS）でグーグルの 안드로이드が取った戦略と基本は同じで、技術を自社で囲い込まずに広く開放するオープンソース戦略です。

市場が生まれたばかりの今のうちに多くの製品に搭載されれば、アマゾンの技術を世界標準にできると考えているようです。

提供：google



すでに海外各社が参入

アマゾンだけではありません。グーグル、フェイスブック、今、アメリカでは名だたるIT界の巨人たちがこぞって音声操作に参入しています。

グーグルは2016年11月、アマゾンの「エコー」を追うように音声操作の機器「グーグル・ホーム」をアメリカで発売しました。AIを搭載し、音声で指示をすると、インターネット

の検索や予定の管理、レストランの予約などを行うことができます。

2017年2月からはネット通販の商品の注文もできる機能を追加し、スーパーの商品を自宅にいながら音声だけで買うことができるようになりました。



パソコンのOS、ウィンドウズで世界標準を獲得したマイクロソフトも、独自の音声認識のAI「コルタナ」を開発し、利用の拡大を狙っています。日産などの自動車メーカーと提携して車内の音声アシスタントも開発しています。

どうする日本

アマゾンの「エコー」に代表されるアメリカ企業の動き。いずれ日本語の日本市場に参入してくるのではない

かと危機感を強めているのが日本勢です。

国内で月間の利用者が6600万人のLINE。3月、スペインで開かれた世界最大規模のモバイル機器の展示会で、出澤剛社長が音声アシスタント機能を持つ製品「WAVE」を開発していることを発表しました。2017年の初夏に日本語に対応して発売する計画です。



リビングルームや寝室などに置く小型のスピーカーで、自社で開発したAIを搭載しています。音声操作でLINEのメッセージを送ったり、その日の天気やニュースなどの情報を得たり、室内の照明のスイッチを切り替えたりできる機能を備えています。

アマゾンの「エコー」と似ていますが、LINEはメッセージアプリのユーザーが集中するアジア市場に特化することで、勝算があると見込んでいます。

出澤社長は次のように話しています。

「音声アシスタントの世界はまだ始まったばかりで、スマホでいうとiPhoneが出るか出ないかという、まだ何も決まってない時期です。日本のプレイヤーを見ると、そこに真剣に取り組もうとしている会社は现阶段ではまだなさそうで、ローカルプレイヤーが強みを発揮できる領域なので、そこに果敢にチャレンジするのは、よいタイミングだと判断しました。われわれは非常に多くの日本語データを扱えるという点が強みだと思います」



LINE
出澤 剛 社長

日本語特有の難しさもあります。例えば、「あれはどうなった？」のように表現があいまいであったり、主語がない言葉使いもあつたりします。日本語を正確に認識して、命令を実行したり、対話をしたりするハードルは技術的にも簡単ではありません。

総務省が所管する情報通信研究機構（国立研究開発法人）は人工知能を使った日本語の音声対話の技術を開発しています。情報通信研究機構が日本語の音声認識の研究開発を始めたのは、30年以上前です。

鳥澤健太郎データ駆動知能システム研究センター長は、次のように話しています。

「アマゾンがすごいなと感じるのは、さまざまなサービスを組みあわせて、あっという間に作りあげてしまうスピード感です。しかし、日本語の処理は難しく、長期間、研究開発を進めてきたわれわれに一日の長があると思っています。エコーのように命令されたら実行するという機能は、技術的に難しくはなく、われわれが目指しているのは、その一歩先です。例えば、車の中で『きょう、いちばんのニュースは何？』と尋ねると、AIがそのニュースを探し出すだけでなく、会話をしながら、起きうる影響なども話すような機能です。大事なものは地道で粘り強い作業で、ゲームチェンジは可能だと思っています」



情報通信研究機構
鳥澤 健太郎 研究センター長

取材を終えて

思い返せば、今から18年前、手軽にネットにアクセスできる世界初の携帯電話として登場したのは、NTTドコモが開発したiモード搭載の端末でした。絵文字を使ったメールや、着信を音楽で知らせる着信メロディー（＝着メロ）、それに、インターネット上のゲーム対戦など当時、画期的と言われたサービスが次々と生まれました。

しかし、日本以外には広がらず、いつしか独自の生態系を歩んだガラパゴス諸島にちなんで「ガラケー」と呼ばれるようになった苦い経験があります。

日本勢にとって、世界標準を握る企業がマイクロソフト（パソコンのOS）やグーグル（検索エンジン）、アップル（スマートフォン）から、アマゾン（音声操作）に変わっただけという構図に終わるか。それとも新たな分野でチャンスを見いだすことができるのか。音声操作をめぐる分岐点となる一年になりそうです。

障害者手帳申請の原因に「自然災害」追加 実態把握へ 神戸新聞 2017年3月10日

地震など自然災害が原因で障害を負った人々の実態を把握するため、厚生労働省が、障害者手帳の申請書類で原因欄の選択肢に「自然災害」の選択肢を加え、今月中に都道府県などに通知することが10日、同省への取材で分かった。

同省によると、認定時に医療機関などが作成する書類を、原因記入の欄に「自然災害」の選択肢を追加した様式に変更。都道府県、政令市、中核市に通知し、医療機関への周知を求める。

阪神・淡路大震災では、支援から取り残された「震災障害者」が課題となった。兵庫県や神戸市も実態を調査し、独自で原因欄に「震災」などの選択肢を加えた。ただ、東日本大震災や熊本地震でも震災障害者の人数を把握する仕組みがなく、震災障害者を支援するNPO法人「阪神淡路大震災よろず相談室」（神戸市）は2月末、「自然災害」の選択肢を設けることや相談窓口設置などの支援策を要望した。

同法人の牧秀一理事長（67）は「支援策を前に進めるための土台となる一歩だ」と評価した。（高田康夫）

映画「真白の恋」 世界進出へ意欲 坂本監督ら知事と懇談



中日新聞 2017年3月11日 富山
石井隆一知事（左から3人目）と記念撮影する坂本欣弘監督（左）と出演者たち＝県庁で

射水市を舞台にした映画「真白（ましろ）の恋」の監督と出演者が十日、県庁を訪れ、石井隆一知事と懇談した。二月十一日の公開から今日九日現在までの来場者数は九千人を突破し、大台の一万人に迫る勢い。十一日には、富山、高岡両市の映画館で凱旋（がいせん）舞台あいさつする。

富山市出身の坂本欣弘（よしひろ）監督、主演の佐藤みゆきさん、岩井堂聖子さん、福地祐介さんが訪れた。坂本監督は「たくさんの人に見てもらっているこの映画は香港にも行く予定。富山から日本、世界に羽ばたくように頑張りたい」と語った。軽度の知的障害がある主人公の女性を演じた佐藤さんは、撮影前に障害者施設を巡ってたくさんの人に会ったエピソードを紹介。「素直に演じられた」と笑顔を見せていた。

石井知事は「登場人物に親近感を持った。生き方に引き込まれる感じで、多くの人に見てほしい」と絶賛。「富山の自然もうまく紹介してもらった」と感謝した。（山中正義）

文楽奉納公演前におはらい町でお練り

読売新聞 2017年03月11日



伊勢神宮（伊勢市）で行われる人形浄瑠璃文楽の奉納公演をPRするため内宮前のおはらい町で10日、人形と出演者らによる「お練り」が行われた。文楽のお練りは本場・大阪でも行われていない珍しいもので、昨年10月に東京・浅草で行われたただけだという。

奉納公演は外宮第2駐車場で11～14日、組み立て式の屋外舞台で全国各地を巡演する日本財団の「にっぽん文楽プロジェクト」で行われる。

おはらい町を練り歩く「にっぽん文楽」の一行

10日は地元の伊勢音頭に先導され、人形遣いの吉田勘弥さん、桐竹勘十郎さんが違う2体の人形とともに、太夫の豊竹英太夫さん、三味線の鶴沢清介さんらが、おかげ横丁から宇治橋までを練り歩いた。

公演は障害者も楽しめる初の「バリアフリー文楽」として、「二人三番叟」と「義経千本桜 道行初音旅」が上演される。

総合プロデューサーの中村雅之さん（57）は「日本文化の原点、伊勢での上演を心待ちにしてきた。伊勢音頭との共演ができてうれしかった」と話していた。

社会福祉法人の不正流用 補助金7300万円返還 神戸新聞 2017年3月10日

全国で保育園などを運営する社会福祉法人「夢工房」（芦屋市）の運営費不正流用問題で、兵庫県は10日、同法人による姫路市など4自治体への補助金返還額が、3月末までに約7300万円に上ることを明らかにした。前理事長（58）一族による不適切支出は約1億4千万円に上るといい、同法人は2017年度上半期中に刑事告訴や損害賠償請求をする方針。

県によると、同法人は、前理事長の母の架空勤務により、常勤の保育所長を置いた際に加算される補助金など、姫路市から13～15年度分の約4100万円を不正受給したとされる。これを含め、同市や東京都港区、目黒区に計約5300万円を返還した。都と港区から受けた計約2000万円も、3月末までに返す。ほかにも補助金の不正受給を調べている自治体があり、返還額は膨らむ可能性がある。

また前理事長は、長女の結婚時に法人経費で購入した家具、家電代など約640万円を同法人に返還。勤務実態がなかったとされる母の給与約2600万円は不正受給として認めておらず、双方の主張に相違があるが、同法人は前理事長らに請求すべき総額は約1億4千万円に上ると見込んでいる。過去10年間の不適切支出を調べており、総額を確定させた後、民事訴訟で支払いを求める方針。

同法人を巡っては、昨年10月の第三者委員会による調査結果の報告を受け、体制を一新した理事会が、今年1月に前理事長ら一族6人を懲戒解雇していた。（斉藤正志）

国民年金は誰が負担？ 半分は税金、保険料未納なら損 日本経済新聞 2017年3月4日

20歳になると年金制度の対象になりますが、国民年金保険料の納付率は6割強にとどまります。厚生労働省の「国民年金被保険者実態調査」によると、滞納理由で多いのは「保険料が高く、経済的に支払うのが困難」という回答です。保険料は年間で20万円に迫ります。収入が少なければ負担は大きいでしょう。

次いで「年金制度の将来が不安・信用できない」「納める保険料に比べて十分な年金額が受け取れない」の順です。若い世代で高く、50代を上回ります。お茶の水女子大の学生が大学生などに実施した調査でも年金制度に不満を感じる人は多く、理由として約9割が「そう思う」と答えたのが「将来もらえるか不安」でした。「受給額が見合わない」も6割が肯定しています。若い世代は保険料が払い損になるかもしれないと考える人が多いようです。



現役世代の保険料を高齢者の年金に充てる賦課方式が日本の年金の基本です。しかし年金額すべてを保険料で賄うわけではありません。現在の年金制度の体系は1986年に始まり、当初から税金を投入しています（国庫負担）。

最初は基礎年金の3分の1で、04年に2分の1に引き上げられることになりました。12年には消費増税による税収を2分の1の維持に充てることになり、国庫負担2分の1は恒久化が決まりました。

14年度の公的年金の財政収支でみると、国庫負担は約11.8兆円です。これには国民年金発足前の給付にかかる費用の一部などが含まれるので国民年金と厚生年金の拠出金合計の2分の1を上回りますが、約10.9兆円が基礎年金の給付に使われているとみられます。

つまり保険料を払っている払っていないにかかわらず、買い物の際に払う消費税などの一部は年金の支払いに使われていて、これは今後も続きます。払い損を理由に保険料を払わず、払っておけばもらえたはずの年金を受け取れないとしたら、税金が払い損になりかねません。

年金財政には年金積立金という存在もあります。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が運用し百数十兆円にも上ります。この一部も年金給付に使っています。金額が積み上がったのは「団塊世代が保険料を多めに払ったため、これがないと現役世代の保険料はもっと上がっていた」との見方があります。

厚生労働省は14年の財政検証に基づき、年金の世代間の給付と負担の差を試算しています。様々な経済状況下で各年齢の人が平均余命まで生きたと仮定し、満額払った保険料に対して受け取る年金の総額を出しました。「国民年金はすべての世代で保険料の払い損はないという結果でした。半分が税金で支払われているからです」とみずほ総合研究所の堀江奈保子上席主任研究員は指摘しています。

社会保険で損得が議論になりやすい代表例は年金でしょう。払う金額ともらう金額がある程度分かり、多くの人が受け取るからです。年金は終身でもらえるので長生きするほど得なことは確かです。もちろん、それにはきちんと保険料を支払うという前提があります。

東日本大震災から6年、被災地などで追悼



多くの児童・教職員が津波の犠牲となった大川小では早朝から、犠牲者の冥福を祈る人たちの姿があった。（11日午前、宮城県石巻市で）＝関口寛人撮影

1万8446人の死者・行方不明者を出した東日本大震災は11日、発生から6年を迎えた。

大津波に襲われた岩手、宮城、福島の前3県では、多くの人が犠牲となった家族や友人らの冥福を祈った。午後からは、東京都千代田区の国立劇場で政府主催の追悼式が行われる。各地でも式典が開かれ、午後2時46分の発生時刻に合わせて黙とうがささげられる。

教職員と児童計84人が死亡・行方不明となった宮城県石巻市の市立大川小旧校舎では、小雪が舞う中、早朝から献花台に花を手向ける人たちが訪れた。当時9歳だった佐藤健太君を亡くした父美広さん（55）は「生きる希望だった。6年たった今なら、背丈は俺を抜いていただろうな。悲しみは増すばかり」と目を潤ませて校舎を見つめた。

読売新聞 2017年03月11日

東日本大震災 規模と被害

発生	2011年3月11日午後2時46分
震源地	三陸沖、深さ24 ⁺ 。
規模	マグニチュード9.0 最大震度7
死者	1万5893人
行方不明者	2553人
震災関連死	3518人（岩手、宮城、福島県）
避難者	12万3168人

警察庁、各県などの最新データから

【大震災6年の望郷】若者たち 避難で苦労したのに なぜ「いじめ」に遭う

福島県内から避難した中学2年の女子生徒＝5日



話題が東日本大震災で避難した児童生徒への「震災いじめ」に及んだとき、中学2年の女子生徒（14）は、それまでの柔らかな話しぶりを変えた。

「地震で怖い思いを経験していない人が、そういうことをするのは、おかしいと思った」

6年前、下校バスを待っていたときに揺れは来た。「いきなりで、とてもびっくりした。家に帰っても、余震のたびに外に出た。周りの家の人たちも出ていたのを覚えている」

当時は小学2年。福島県の浜通りから家族とともに埼玉県内に避難した。「何で引っ越すのかよく分からなくて驚いた」という。一番気になったのは、ともに被災し、離ればなれになる友達のことだった。

震災いじめの存在は、つい最近の報道で知った。

「私は小さかったからか、嫌なことを言われることはなかった。でも、男の子は避難も大変だったのに、その後もなぜつらい目に遭わなきゃいけないのかな。いじめられたと訴えていたのに、大人がいじめではないと言っていたのがおかしい。ちゃんと対処してほしい」と言葉を重ねた。

「懐かしいな」。県南東部で暮らす会社員の男性（26）は、テレビに映った故郷の福島県南相馬市の景色を見て、ふと思った。震災直後は、わざわざ見ようとしなくても、いやでも被災地の情報が飛び込んできた。「積極的に見たいと思ったことはなかった」という当初の心境は、緩やかに変化してきた。

震災発生後、親戚を頼って半年ほど新潟県に滞在した後、埼玉県に避難した。当初は一つの家には複数の家族が同居したため、心が安まらない日々が続いたが、数カ月後には家族の生活が回復。約2年後には塗装の仕事も再開した。

「みんな無事で避難できたし、何とか生活もできているし、震災のことは引きずっていない」

南相馬市には、震災以前から交際し結婚を考えている女性が暮らしている。いずれかのタイミングで戻るかも、とは思う。しかし、「仮に戻るとしても、具体的にどういう生活になるかは描けていない」。故郷は「まだ復興していない」と思っている。

人口減少や震災の記憶の風化より、復興を遠ざけているのは東京電力福島第1原発の問題。「6年経ってもまだこの段階か」と、もどかしさは消えない。「原発事故のことが一区切りつけば、自分がその時どこにいたとしても『ああ、南相馬は良い方向に進みはじめたんだ』と安心できると思う」。淡々とした声が少しだけ明るくなった。

冒頭の女子生徒に、「いま自分は福島県民、埼玉県民どちらだと思う？」と尋ねてみた。答えは「埼玉県民かな、と思う」。「家族でいるし、あまり戻りたいとは思わない。ただ、ボランティアには他の人と行く機会があったら参加するかもしれない」

福島県中通りから避難した高校1年の男子生徒（16）は、「進学も関東でするつもりだし、仕事も関東で探すつもりだ」と話す。被災地について「正直、『自分が何とかしなきゃ』という気持ちはない」としつつ、「避難者の自殺が増えていると聞いたことがある。原発の処理に時間やお金を掛けすぎないで、そうした人たちに対処すべきじゃないか」。

同郷の人々に心を寄せつつ、若者たちは生まれ故郷の移り変わりを冷静に見守っている。（菅野真沙美が担当しました）

なく強い揺れが、経験したこともないほど長く続いた。弱まったかと思ったら、またもや激しく揺れだす。

自分のことを知らせ、親しい人の様子を知りたいと、多くの人は携帯電話を手にした。時間は要しても、連絡を取り合えた人は幸いだった。それがかなわなかった人がどれほど多かったことか。

やがて襲った巨大な津波によって、約1万6千人が亡くなった。さらに2500人以上の行方が分からないまま。

1万8千人を超える犠牲者の何倍もの人たちは、どんなに無事を祈ったことだろう。2011年3月11日から東北の被災地の人々の心は激しく揺さぶられ、今もなお収まっていない。

東日本大震災の「風化」が、しきりに聞かれるようになった。岩手、宮城、福島3県の被災地の42市町村長に対する河北新報社のアンケートでは、「多少なりとも風化を感じる」という答えが9割に達している。

震災報道の減少やボランティア事業が少なくなったことに、風化を感じるという。時の経過とともに記憶や関心が薄れていくのは仕方ないことだが、それを自らの努力で食い止めようとしている人も決して少なくない。

国立民族学博物館（大阪府吹田市）の竹沢尚一郎教授（65）は今、企画展「津波を越えて生きる一大槌町の奮闘の記録」を博物館で開催中。岩手県大槌町で被災した人々の写真などを豊富にそろえ、訪れた人に見てもらっている。

もともと東北とは縁がない。それでも6年前、「居ても立ってもいられない気持ち」になり、妻と次女の3人で大槌町の支援に赴いた。4月8日のことだった。

この6年間、ボランティア活動と研究のために何度も大槌町へ行き、企画展開催にこぎ着けた。残念ながら、関西では「もう復興しているんでしょう、といった感じ」と竹沢教授。それでも「大阪にもいつ津波が襲って来るか分からない。だから風化させてならない、と感想を書き残す来訪者もいる」と手応えを感じている。

栗原市で農業を営む菅原正俊さん（75）とさだ子さん（72）の夫婦にとっては、風化などどこ吹く風。震災後ずっと、軽トラックに野菜を積んで宮城県沿岸部の仮設住宅に無償で届けてきた。

「世の中は少しずつ忘れていく気配ですが、私たちはまだまだ前向き」とさだ子さん。昨年暮れまで延べ951カ所に宅配した。年明け後は冬休みだったが、そろそろ再開する。通算1000カ所も間近になっている。

津波と福島第1原発事故が重なった福島県には、真っ正面からの「異議申し立て」で風化に抗しようとする人たちがいる。

散り散りになった避難者で組織する「原発事故被害者・相双（そうそう）の会」のメンバーは「3年後の東京五輪までに国は避難指示をほとんど全て解除し、表面的にはまるで何もなかったかのように思わせたいのではないか」と危ぶむ。

「政策的な風化」とでも呼ぶべき状況になりかねないが、損害賠償を求める裁判で東京電力や国の責任を追及していく。原告団に加わった相双の会のメンバーは「ことしは各地で判決を迎えるはず」と司法判断を待っている。

風化は嘆かわしいとしても、押しとどめることができないわけでもない。諦めず、確かな意志と行動によって。巨大な悲しみに包まれた一つの時代に居合わせ、痛切な思いを共有する一人一人がその当事者になることができる。

